

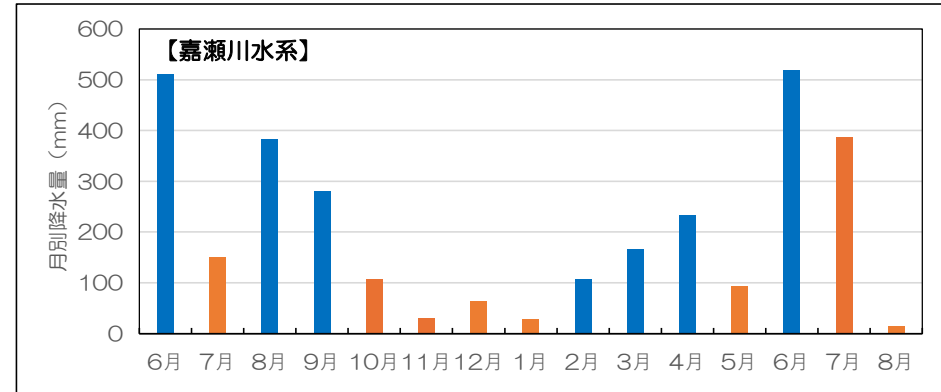
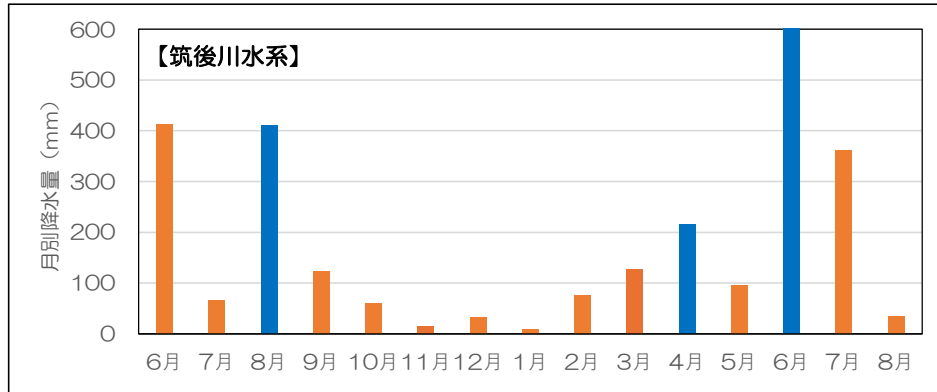
令和8年度第2回 佐賀県渇水対策連絡会

県内の渇水状況について

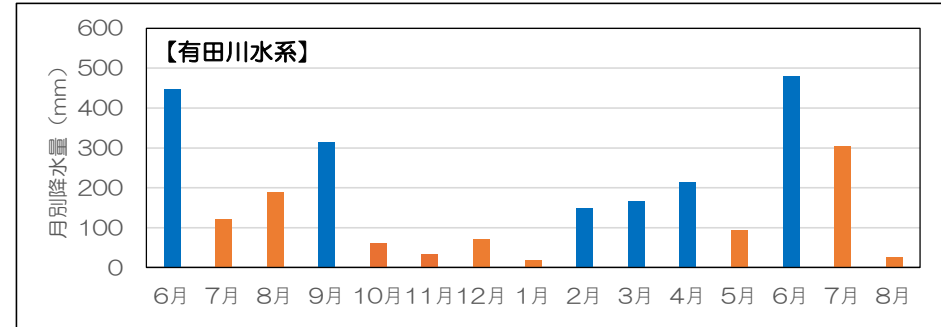
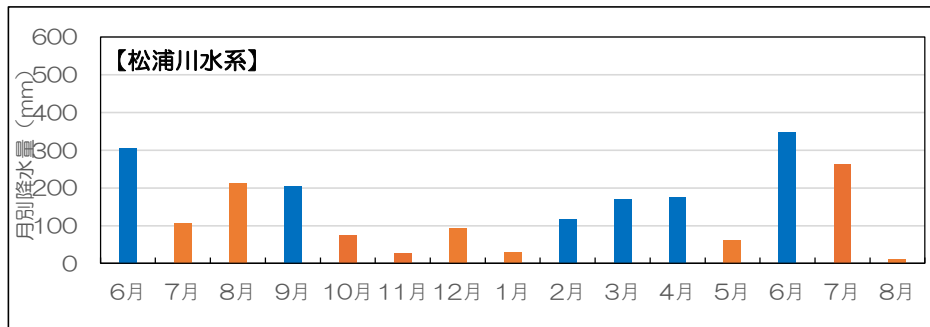
令和8年9月4日

県内各水系別・月別降水量

(R8年8月31日現在)



(凡例)
■ : 平年比以上
■ : 平年比未満



(単位: mm・%)

水系名		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
筑後川水系 瀬ノ下流域	降水量	412.0	66.7	409.6	123.5	59.3	14.5	31.3	8.7	76.1	127.2	216.1	94.2	648.9	360.8	37.5
	【平年比】	99.9	15.0	176.1	61.4	60.5	16.7	47.9	13.1	86.7	94.4	141.3	51.9	157.3	81.1	16.1
嘉瀬川水系	降水量	511.1	150.3	383.1	280.8	107.9	30.1	64.4	28.6	106.5	166.0	233.9	93.2	518.4	386.6	11.2
	【平年比】	149.7	34.0	114.9	123.6	92.0	27.5	76.8	34.5	114.9	113.0	126.0	43.1	147.0	90.7	3.3
松浦川水系 唐津市	降水量	306.0	106.0	212.0	205.5	75.0	25.5	92.5	28.5	116.5	169.0	175.5	61.5	349.0	263.5	10.0
	【平年比】	109.3	30.4	67.5	107.4	59.2	29.8	97.8	37.8	136.4	144.4	120.0	49.0	124.6	75.5	3.2
有田川水系 伊万里市	降水量	446.0	121.0	188.5	314.0	60.5	35.0	72.0	19.5	150.5	167.5	215	95.0	479.0	304.0	25.0
	【平年比】	125.4	32.9	69.3	140.1	57.6	32.6	86.1	24.8	160.4	112.7	114.2	48.2	134.7	82.6	9.2

(※唐津市、伊万里市の雨量データは気象庁HPより)

1、筑後川流域の水状況について

筑後川流域内施設位置図

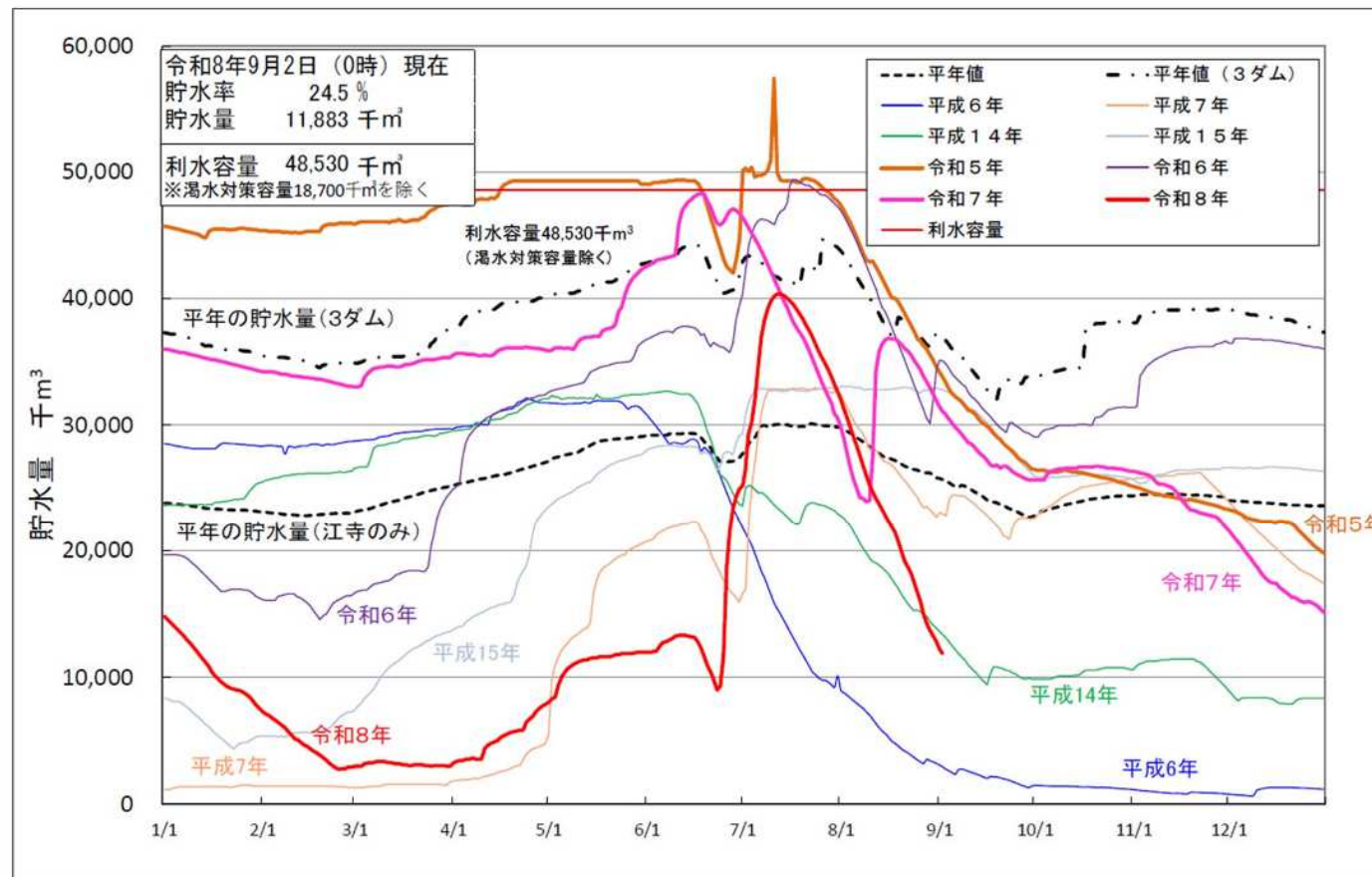


①朝倉3ダム（江川・寺内・小石原川ダム）貯水量〔水源の状況〕

R8.9.2時点

- 筑後川の流況が減少すると、都市用水等の利用のためダムから補給が必要。
- 朝倉3ダムをはじめ筑後川水系主要利水6施設は、少雨が続けば貯水量の減少が想定される。

令和8年9月4日 0 時時点
貯水量：10,998千m³
(22.7%)

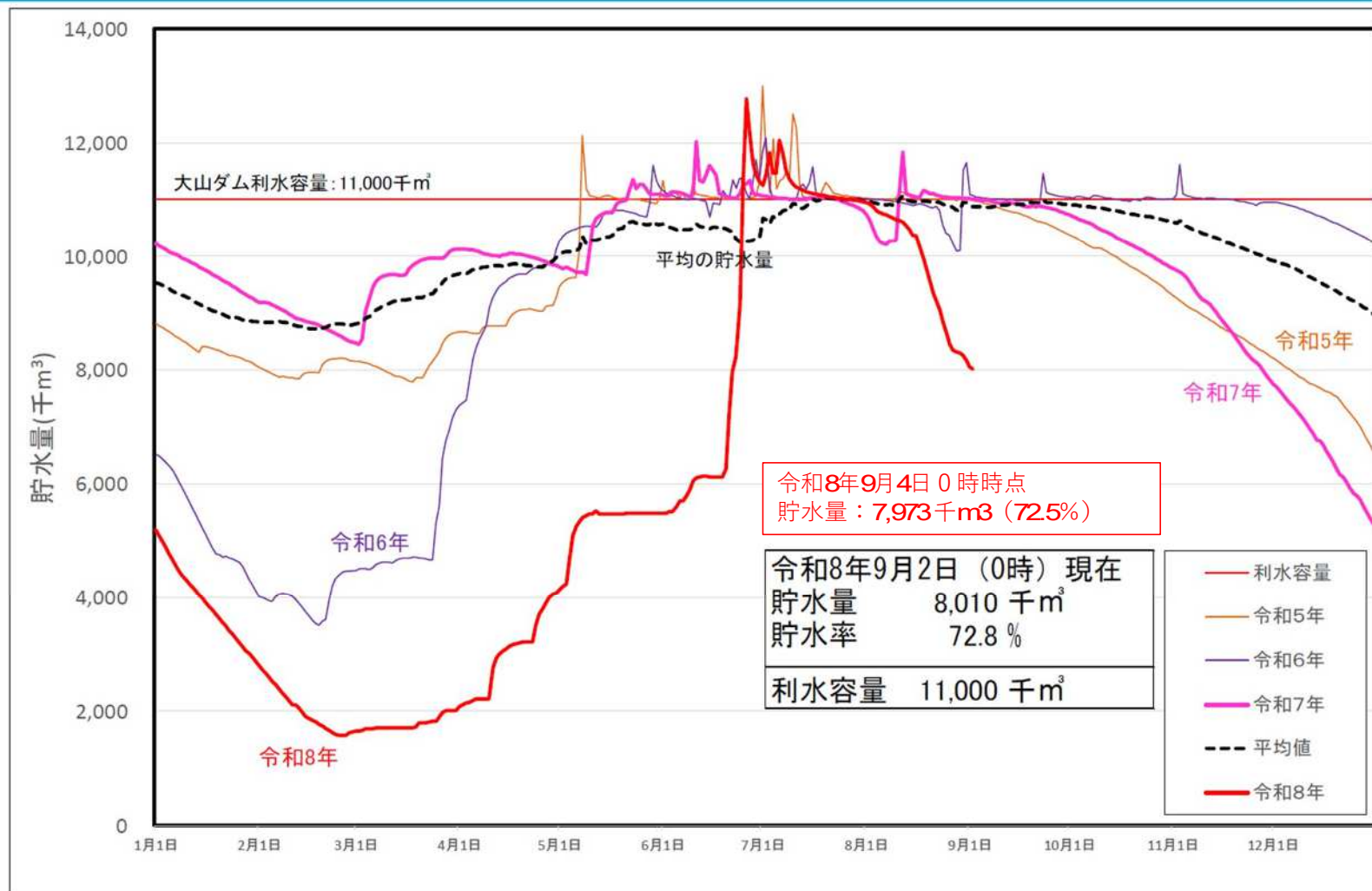


※平年値は、1991～2020年(30年間)の平均値（江川・寺内ダムのみ）

②大山ダム貯水量

[水源の状況]

R8.9.2時点

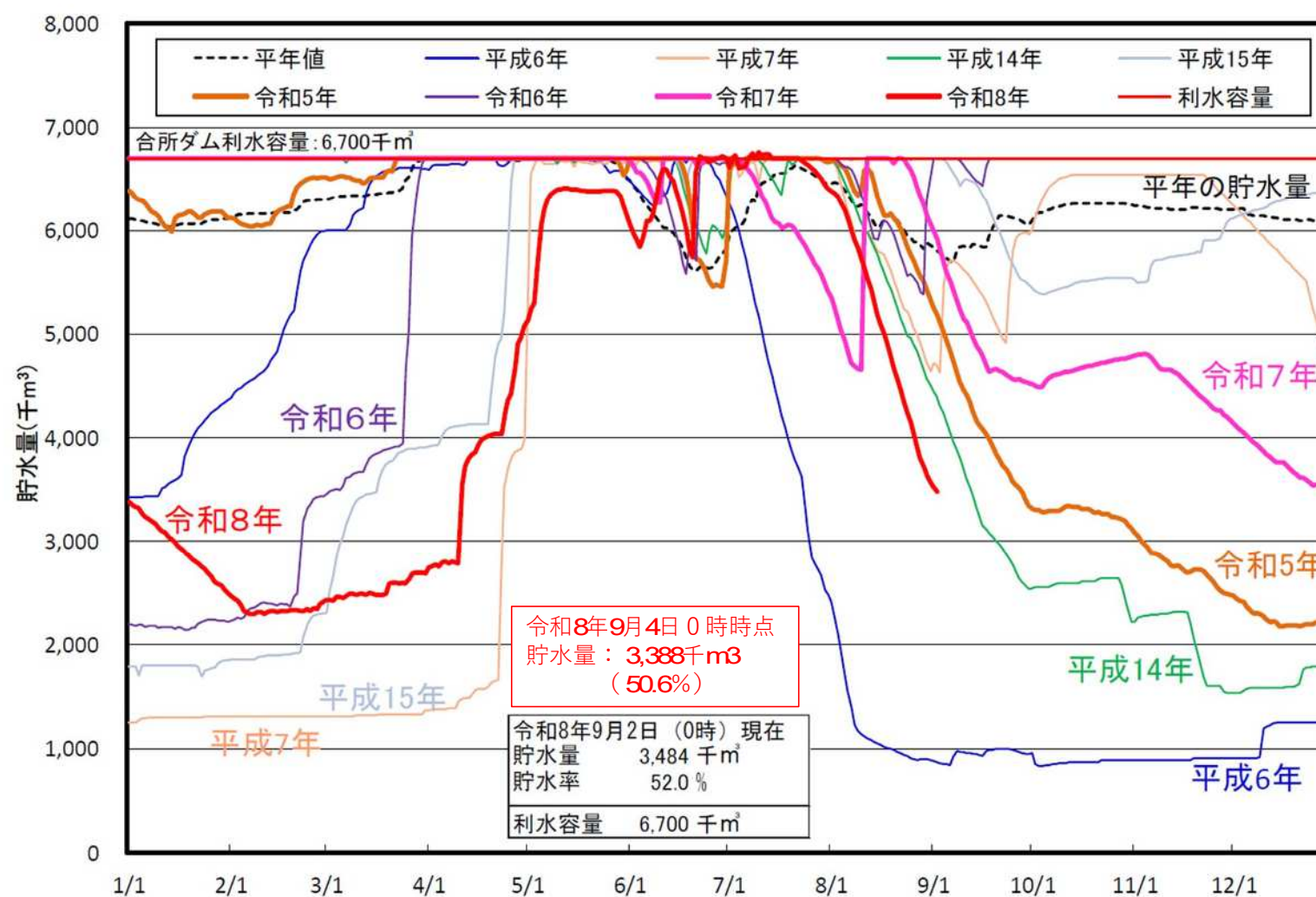


※平均の貯水量は、10か年 (H28～R7) の平均の値

③合所ダム貯水量

〔水源の状況〕

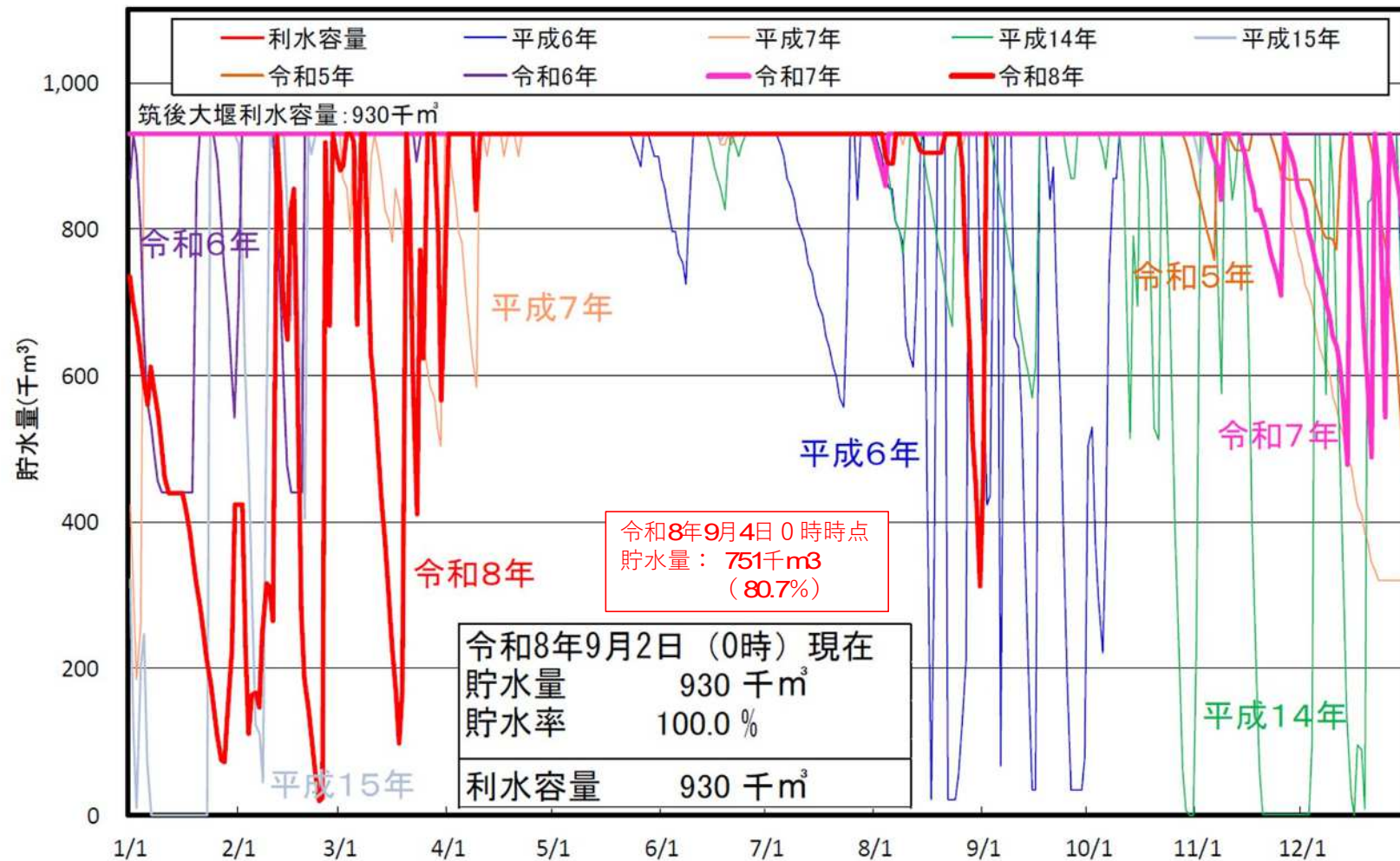
R8.9.2時点



④筑後大堰貯水量

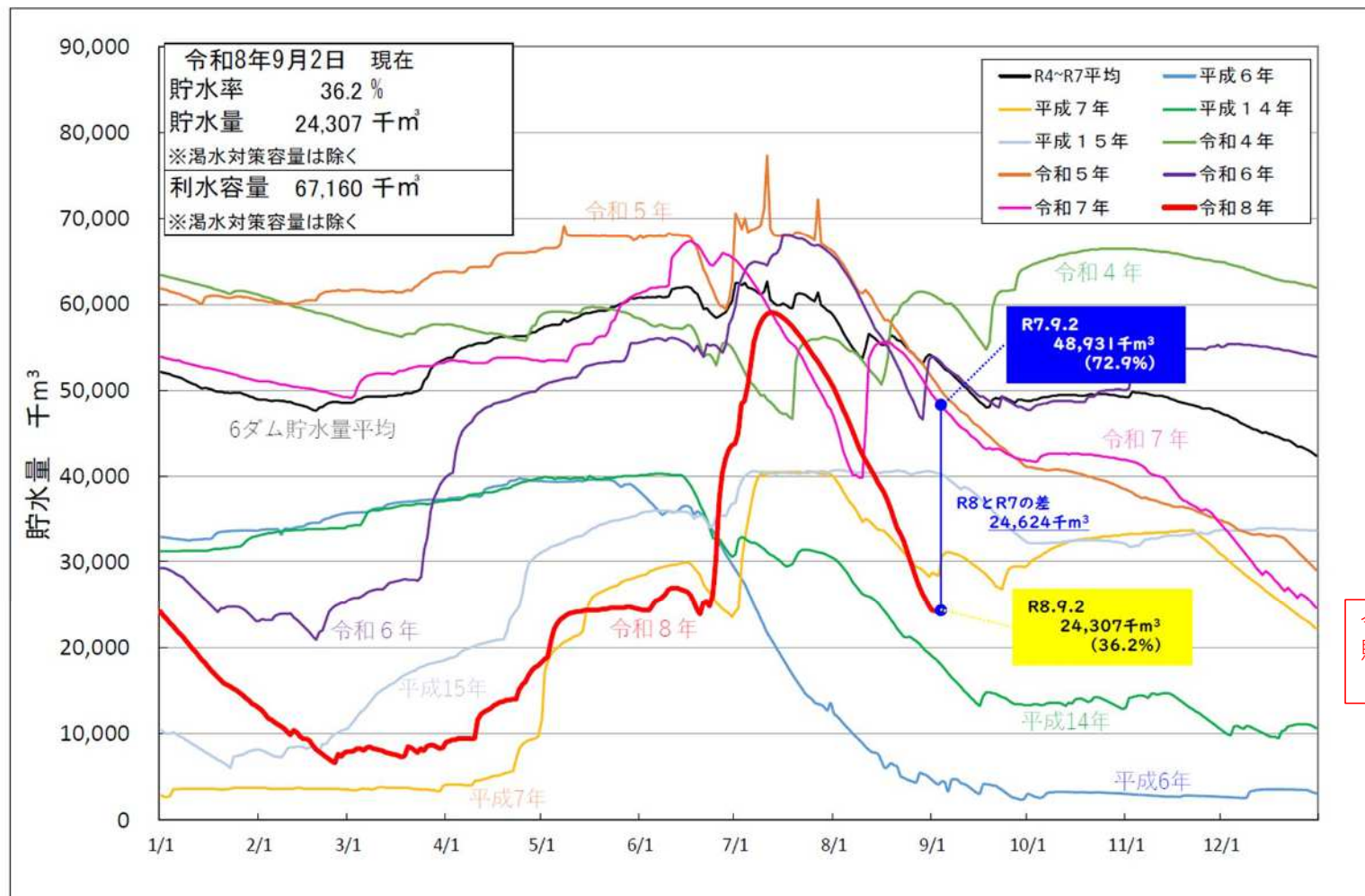
[水源の状況]

R8.9.2時点



6ダム（江川・寺内・小石原川・大堰・合所・大山）貯水量経年変化図

R8.9.2時点



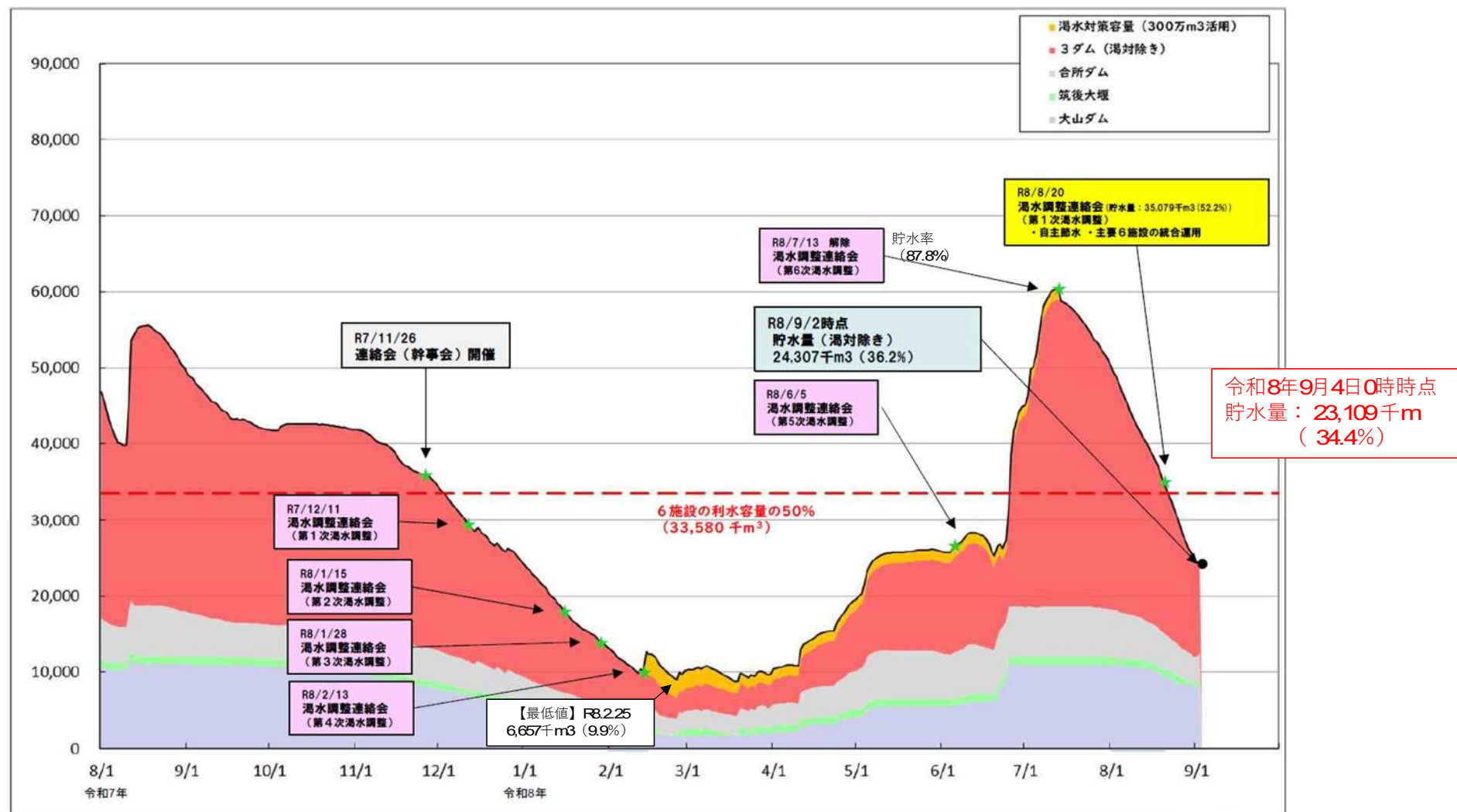
令和8年9月4日0時時点
貯水量：23,109 千m³
(34.4%)

※6ダム貯水量平均（R4～R7）は、小石原川ダム完成後の4カ年平均

※平成6年～7年、平成14年～15は、江川・寺内・大堰・合所の合計貯水量

6ダム（江川・寺内・小石原川・大堰・合所・大山）貯水量変化図

R8.9.2時点



令和8年9月 日

令和8年度 筑後川水系渇水調整連絡会 第2次渇水調整（案）

I 渇水調整の背景

筑後川流域では梅雨明け以降少雨傾向にあり、8月の月間降水量は江川ダムが管理開始した昭和50年以降最少であった。

令和8年8月21日から第一次渇水調整に取り組んでいるが、その後においても少雨傾向が続き、主要利水6施設（江川ダム、寺内ダム、筑後大堰、合所ダム、大山ダム及び小石原川ダム）合計貯水量は4割を下回り、減少傾向が継続している。

今後、この状況が継続すれば、水利用の制限による市民生活や経済活動への影響が懸念されるため、更なる渇水対策が必要な状況である。

このような状況を受けて、福岡県及び佐賀県から筑後川水系渇水調整連絡会の開催要請があり、以下のとおり、各水利使用者間の総合的な水運用のため第1次渇水調整に引き続き、今回、第2次渇水調整を行うものである。

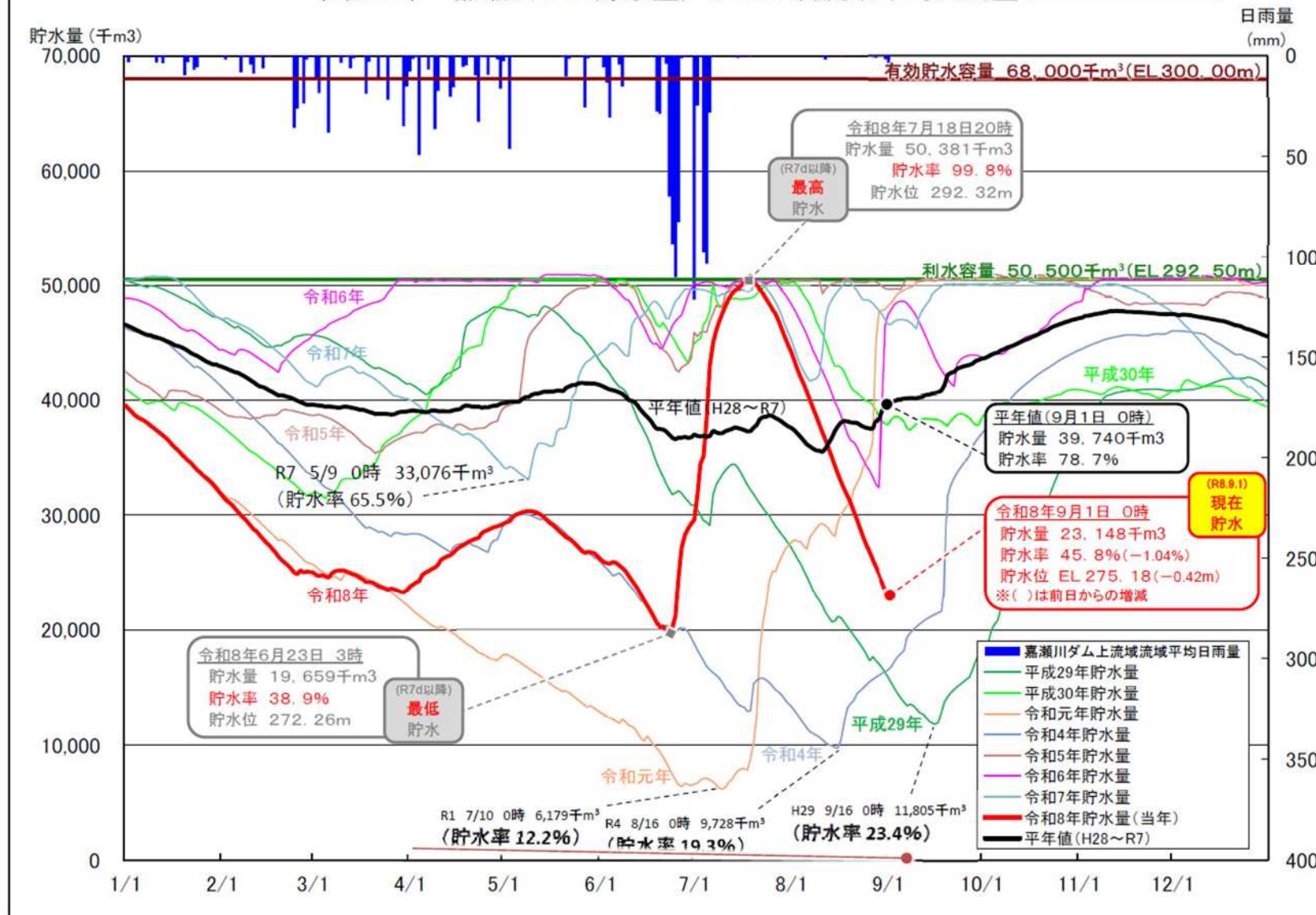
II 渇水調整事項（案）

1. 主要利水6施設の貯留水延命のため、福岡県及び佐賀県は、かんがい用水使用者、水道事業者等に対し自主節水の継続を促すとともに、9月4日から、同時期の実績取水量に対し、福岡地区水道企業団は30%、福岡県南広域水道企業団及び佐賀東部水道企業団は3%の取水制限を実施する。また、一層の域内水源の活用や取水制限強化に向けた検討を行う。
2. 主要利水6施設の貯留水延命のため、福岡地区水道企業団は、9月4日から山口調整池の貯留水を使用し、筑後川からの取水量を極力低減させるものとする。
3. 主要利水6施設の貯留水を効率的に活用するため、全ての利水容量を統合運用する。
4. 関係機関は、筑後川に係る水の利用者に対して、一層の節水を促すよう啓発活動を行う。

2、嘉瀬川水系の水状況について

令和8年 嘉瀬川ダム貯水量, ダム上流流域平均日雨量

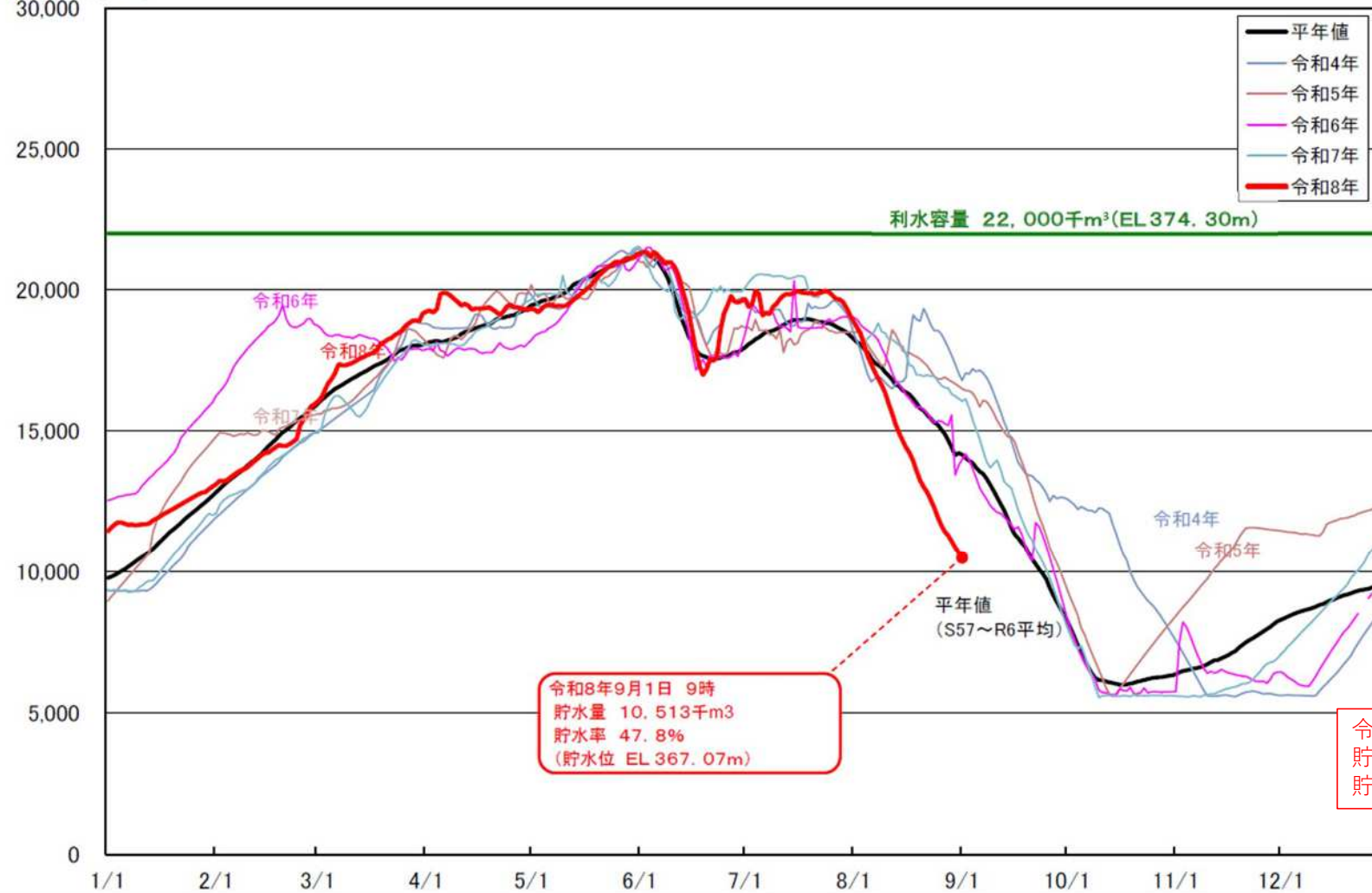
別紙一②



令和8年 北山ダム貯水量グラフ

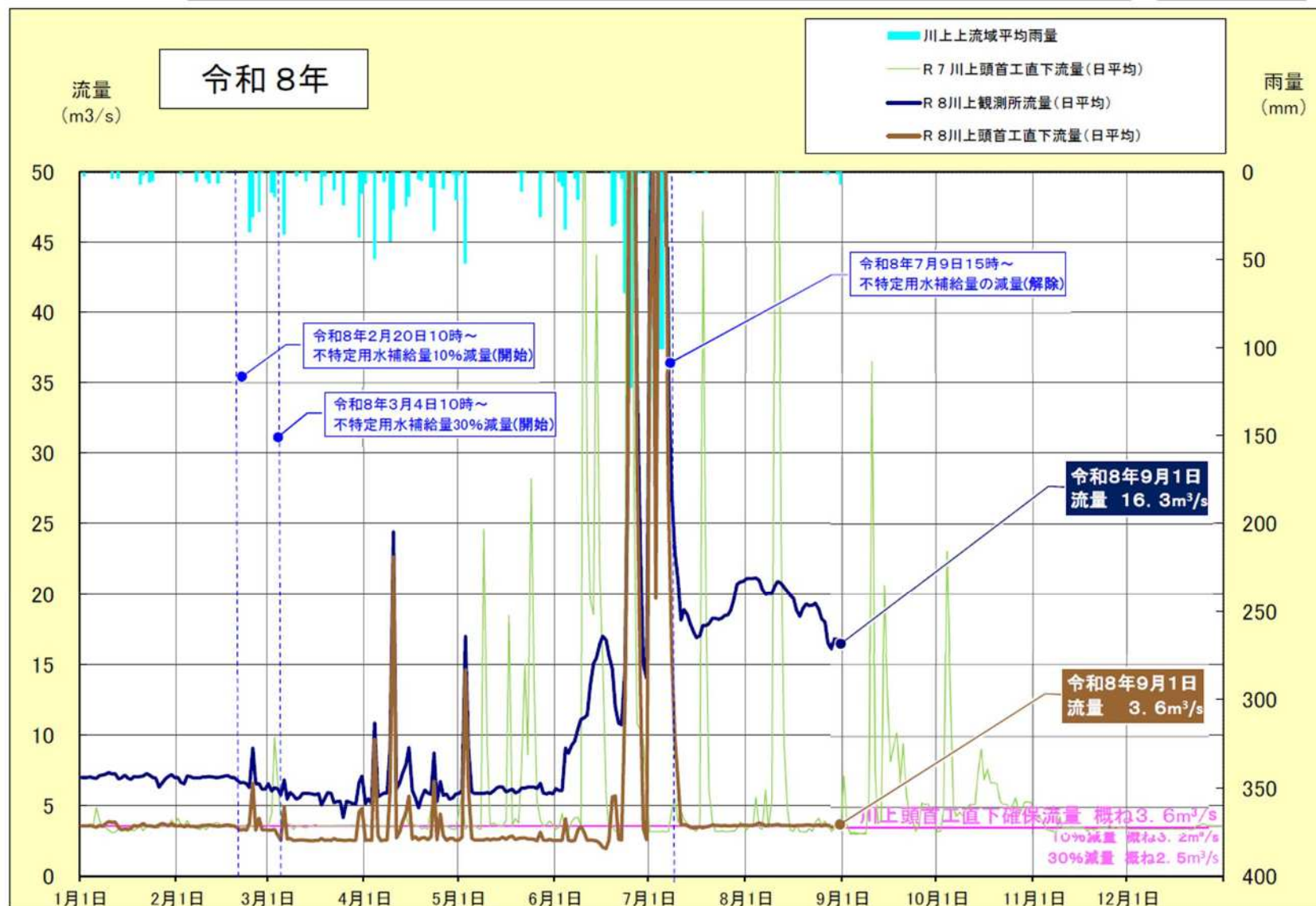
別紙ー③

貯水量(千m³)
30,000



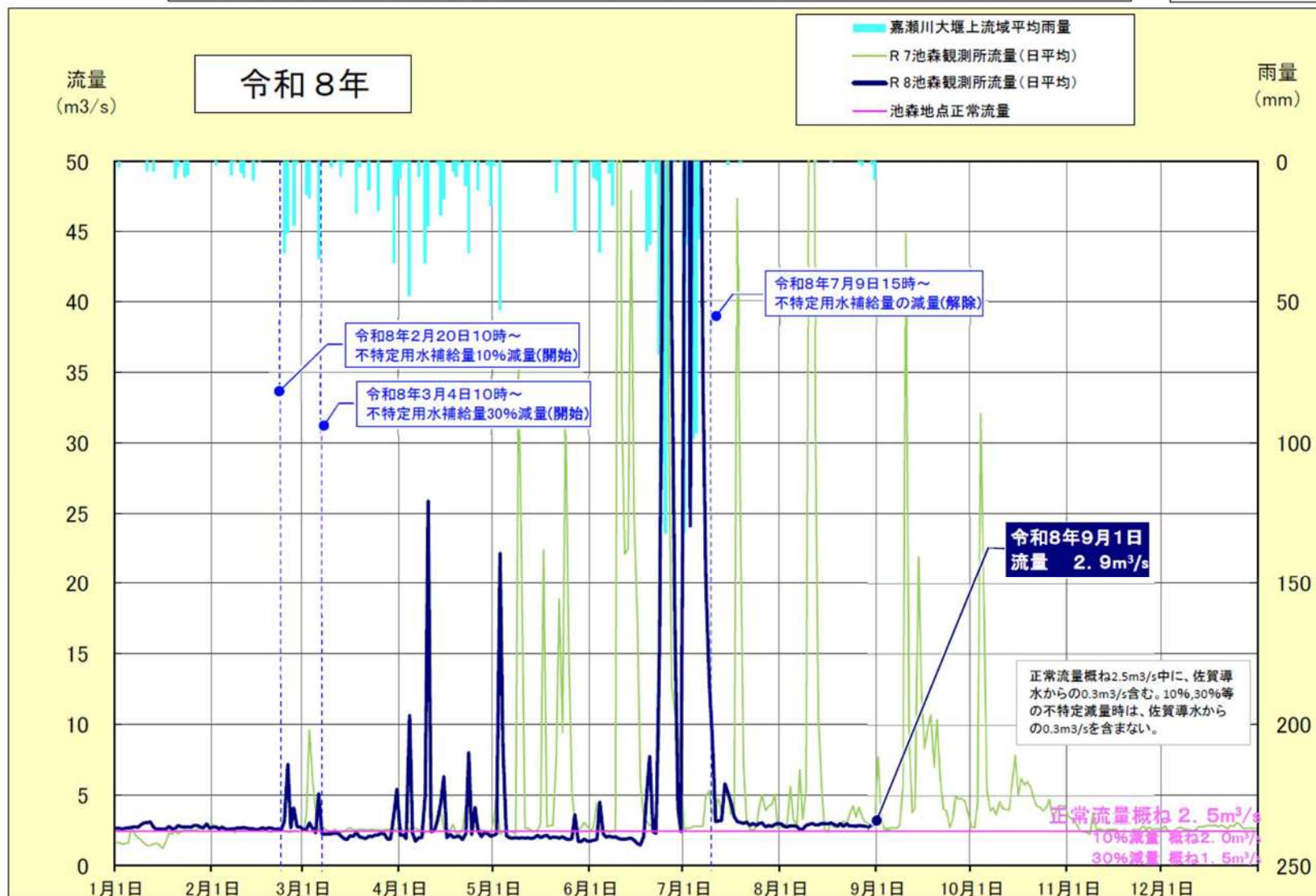
【嘉瀬川】川上流量・川上上流域平均雨量（速報値）

別紙一④



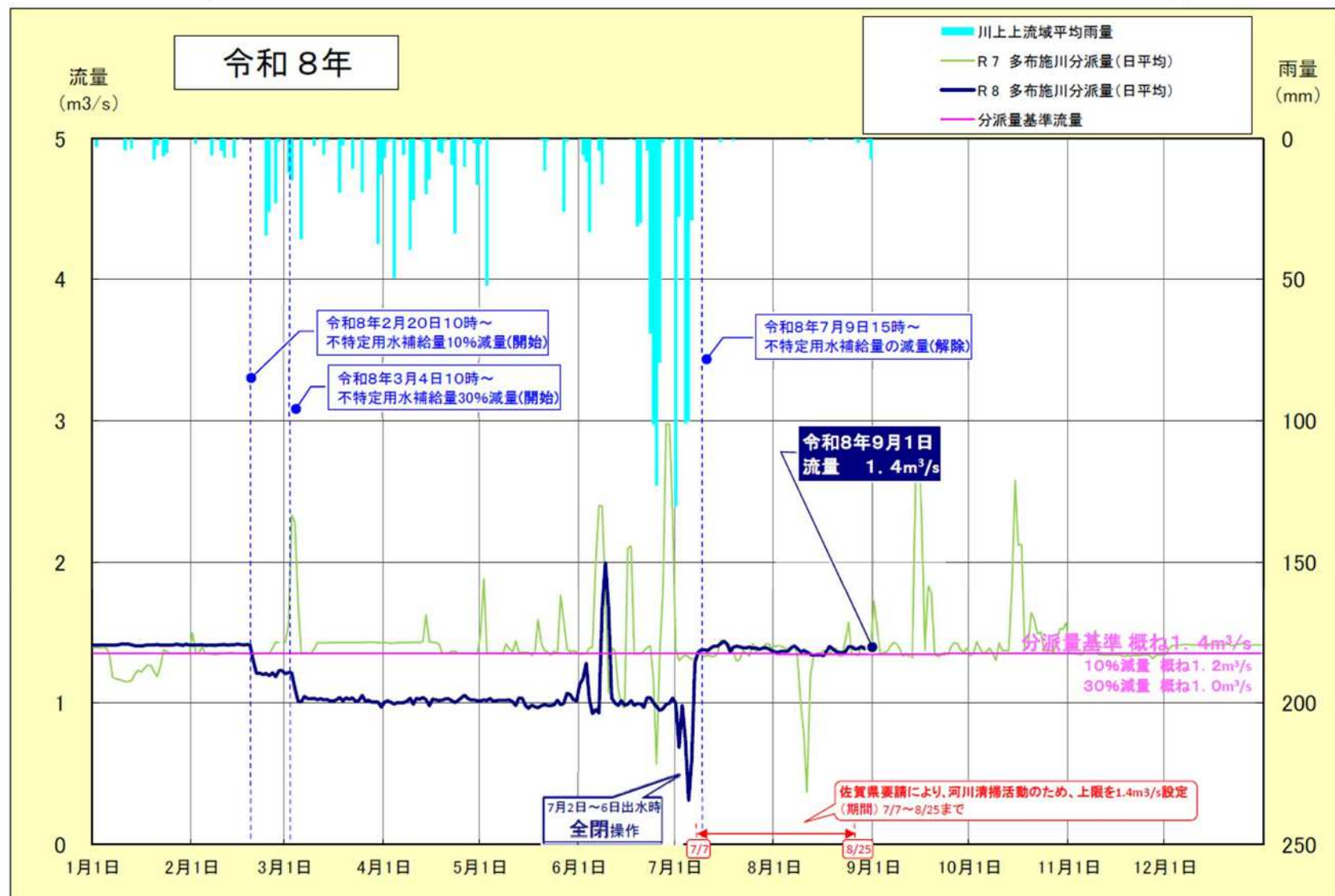
【嘉瀬川】池森観測所流量・嘉瀬川大堰上流域平均雨量（速報値）

別紙－⑤



【嘉瀬川】多布施川分派量・川上上流域平均雨量（速報値）

別紙－⑥



令和 8 年 9 月 4 日

令和8年度 嘉瀬川水系渇水調整協議会（第 3 回委員会）
－第 1 次合意事項－

□委員会における合意事項

1) 嘉瀬川流域では、7月以降の少雨傾向により、嘉瀬川の流況が厳しい状況であり、嘉瀬川ダム貯水量が低下していることから、今後の気象及び水利用の状況を踏まえ、以下のとおり渇水調整を行うものである。

①上水、工水の取水を 5 %程度制限する。

②農水の取水は、最大10%程度制限する。

③嘉瀬川ダムからの不特定用水補給量を10%程度減量する。

2) 上記、不特定補給の減量及び取水制限は、9月4日（金）17時より開始する。

3) 関係機関は、嘉瀬川に係る水の利用者に対して、節水についての啓発活動を行うこととする。

4) 降雨が少ない状況が続き、更なる節水の実施等が必要となった場合は、今後の状況を見ながら委員会を招集して決定する。

3、県内（他の水系）の状況について

佐賀県のダム 位置図

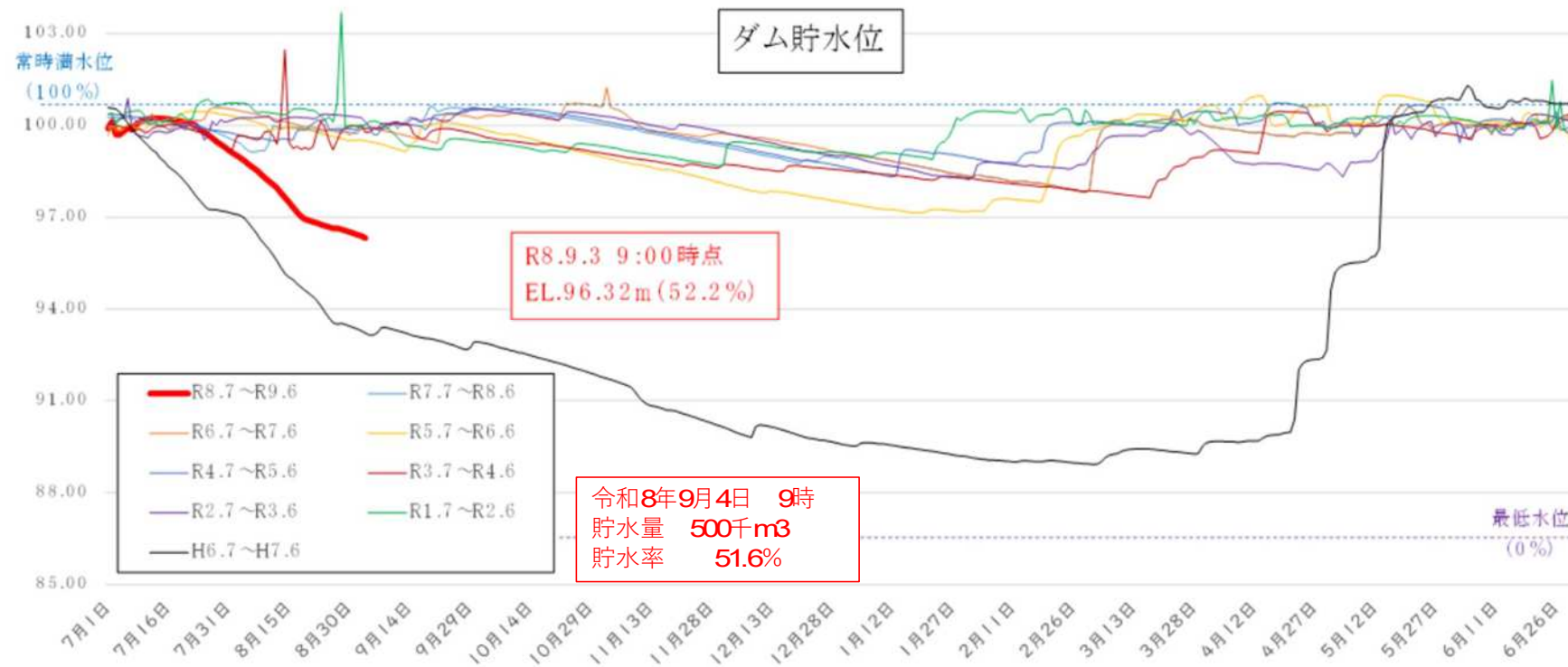


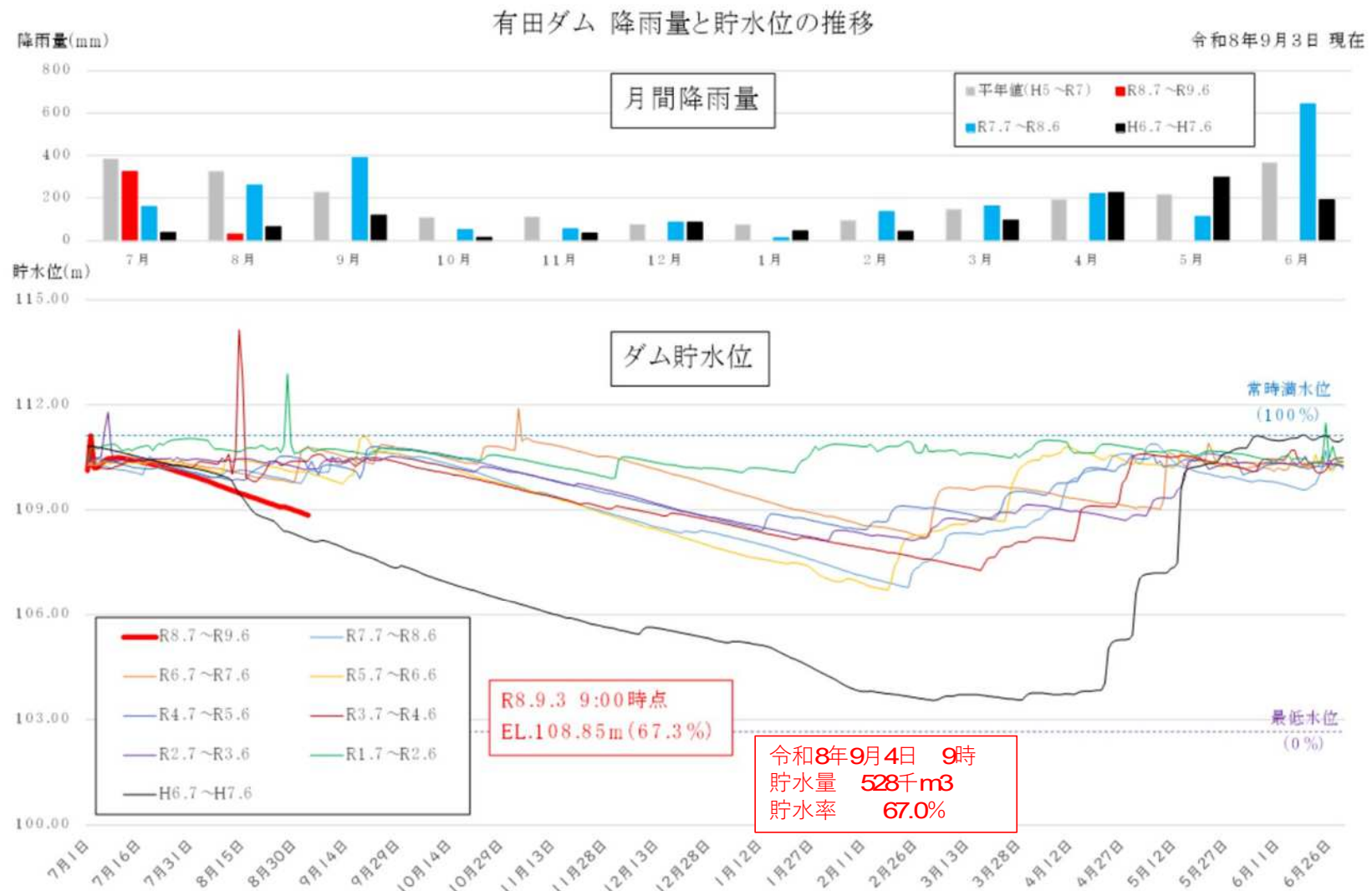
県営ダムの貯水状況
(9月4日 9時現在)

水系	ダム名 (所在地)	計画 貯水量 (千m ³)	R8.9.4 9時現在		10年 (H28- R7) 平均値
			現況 貯水量 (千m ³)	現況 貯水率	
松浦川	本部ダム (武雄市)	750	473	63.1%	87.6%
松浦川	平木場ダム (唐津市)	424	342	80.7%	94.6%
松浦川	伊岐佐ダム (唐津市)	160	99	61.9%	61.7%
松浦川	狩立・日ノ峯ダム (武雄市)	1,040	583	56.1%	85.4%
松浦川	井手口川ダム (伊万里市)	1,260	693	55.0%	84.9%
六角川	矢筈ダム (武雄市)	870	500	57.5%	86.6%
伊万里川	都川内ダム (伊万里市)	1,000	616	61.6%	84.4%
有田川	竜門ダム (有田町)	970	499	51.4%	82.9%
有田川	有田ダム (有田町)	780	528	67.7%	90.9%
塩田川	岩屋川内ダム (嬉野市)	630	203	32.2%	68.3%
塩田川	深浦ダム (白石町)	20	8	38.6%	100.0%
塩田川	横竹ダム (嬉野市)	1,900	1,542	81.2%	91.8%
鹿島川	中木庭ダム (鹿島市)	2,800	1,202	42.9%	82.4%
	県管理 13 ダム計	12,604	7,288	57.8%	85.1%

竜門ダム 降雨量と貯水位の推移

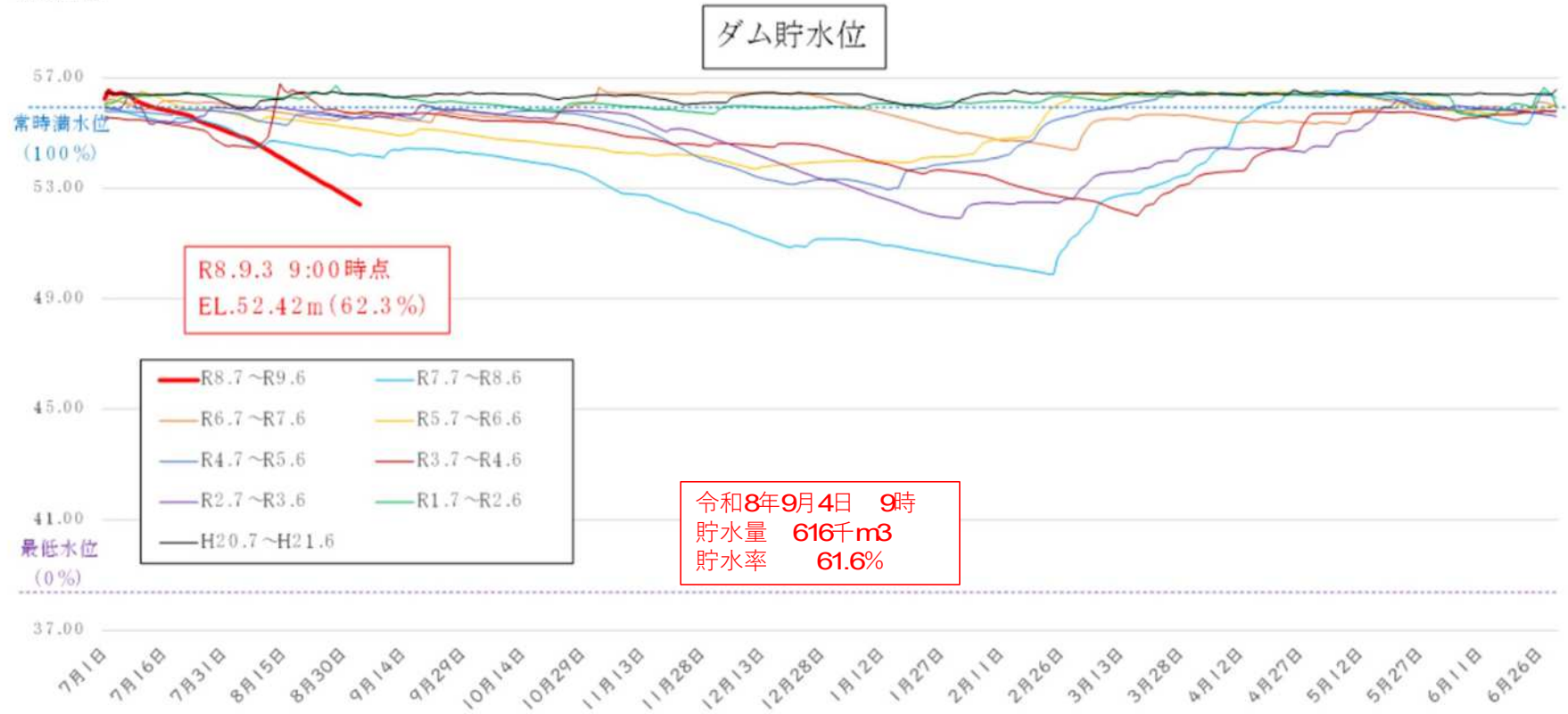
令和8年9月3日 現在





都川内ダム 降雨量と貯水位の推移

令和8年9月3日 現在



4、今後の天候の見込みについて

今後の天候の見通し（1か月・3か月予報福岡管区気象台予報より）

1か月予報（2026年9月3日発表）の解説 福岡管区気象台

向こう1か月の天候の見通し
九州北部地方（山口県含む）（9/5～10/4）

向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

	降水量（向こう1か月）
九州北部地方（山口県含む）	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	降水量（1か月） 少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 以上 以上 以上 以上

3か月予報（2026年8月25日発表）の解説 福岡管区気象台

向こう3か月の天候の見通し
九州北部地方（山口県含む）（9月～11月）

	降水量（向こう3か月）
九州北部地方（山口県含む）	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です	降水量（3か月） 少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 以上 以上 以上 以上

	降水量 9月	降水量 10月	降水量 11月
九州北部地方（山口県含む）	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み
数値は予想される出現確率（%）です	降水量 9月 少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 以上 以上 以上 以上	降水量 10月 少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 以上 以上 以上 以上	降水量 11月 少ない確率（%） 50 40 40 50 多い確率（%） 以上 以上 以上 以上